

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 14
令和元年 8月29日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

○夏休みも終わり、今日から2学期スタート ～ さて、2学期の登校日数は何日でしょう ～

40日間の夏季休業も終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。

今年の夏も、『炎暑・酷暑・猛暑・烈暑・極暑』という言葉が、当てはまる夏でした。夏休みに入ってから、連日うだるような暑さとなり、お盆過ぎまでは、厳しい暑さが続きました。

こうした高温の気候変動の中、本年度はこの夏、八頭町行政・教育委員会のお力添えで、学校の各教室を始め、全ての特別教室にエアコン設置工事が行われ、素晴らしい環境での学習が可能となりました。まだ、完成していませんが、9月には試運転を行う予定です。来年度からは『炎暑・酷暑・猛暑・烈暑・極暑』も気にすることなく、快適な環境で子供たちが学習に生活に向かうことができます。町行政関係者の皆様に、心よりお礼申しあげます。そして、厳しい暑さの中、工事を進めて下さった工事関係者のみなさんにも、心から感謝申しあげます。子供たちの学習環境の整備は、まず、一段落しました。ありがとうございました。

さて、八東小学校の素晴らしい環境の下で学ぶ子供たち。この夏もそれぞれ自分のめあての達成・実現に向けて取り組んだことと思います。40日間、どう過ごしたのか、その成果は2学期に入ればすぐに分かります。継続してきたことは、2学期に必ず現れてきます。実は、昨年度、2学期の始業式で「**79・49・51**」という3つの数字を示しました。保護者のみなさん、検討しますか。始業式後に、学校便り(No.23)で紹介しましたが、「学校に登校する日数・授業日数」を示した数です。**79**は、2学期の授業日数、**49**は、6年生の3学期授業日数、**51**は、1年生から5年生の3学期の授業日数です。(しかし、この日数も昨年度2学期は、台風などの影響で臨時休業があり、2日減っています。幸いなことに、3学期はインフルエンザなどの流行もなく、学級閉鎖・学年閉鎖はありませんでした。3学期は変更なしです。)

そして、今年はというと、「**80・48・50**」という数字になります。数えて見れば、僅かな日数です。2学期の授業日数・80日は、ちょうど夏休み・40日の2倍の日数になります。こうしたことを思うと、学校生活での学びが、家庭で過ごす日々としっかり連携・連動していくことが、ますます重要に思います。学校の授業日数、そして、家庭生活の日数、その日々の大事さを痛切に感じます。

いよいよ、今日から僅か80日の2学期のスタートです。80日の学校生活の日々を大切に、そして、37日の家庭で過ごす土日の日々を大切にしましょう。(今年、定年を迎える自分自身、1日1日の大切さを、身にしみて感じています。)

さてこの夏も、様々な研修会に参加しました。勉強の日々でした。中でも非常に勉強になった講演の一つを紹介します。県小教研数部会夏季セミナーでの愛知教育大学教育学部・准教授・青山和裕先生の講演です。青山先生は、来年度から新学習指導要領の算数の新領域となる「D・データの活用」について先進的な取組をされ、この分野の実践・研究のリーダーでもあります。演題は、「AI時代を視野に入れた統計教育の指導について」でした。現代社会がいかに多くのデータで様々な仕組みが作られているか、データの活用が、時代を切り拓き、時代を次へと進める大切な財産であり、企業の収益にもつながるものであること。そして、今という時代が、そんな時代に既になっていることを、様々な事例を下に紹介して下さいました。大変興味深く感じ、2時間の講演が、瞬く間に過ぎた感がありました。

その中で、以前も話しました「**Society 5.0**」(昨年度の学校便り・No.45に記載)の社会で求められる人材像として、次のようなことを紹介して下さいました。

【 **Society 5.0**において求められる人材像 ～ 共通して求められる力 ～ 】

- ①文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- ②科学的に思考・吟味し活用する力
- ③価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力

「**Society 5.0**に向けた人材育成に係る大臣懇談会

新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォース」より

時代が人工知能AIが進歩し、「**Society 5.0**」の時代になろうとも、AIに負けない、人間としての大切な基本の力は、「文章や情報を正確に読み解き、対話する力」です。このことを再度、この研修会でも確認しました。

2学期も子供たちの「読解力」向上に向けた取組を進めていきます。まずは、秋の読書活動からスタートです。是非、この秋の夜は、テレビを消して、スマホやゲームもやめて、家庭での読書(新聞などを読むことも良いですね。)をお願いします。

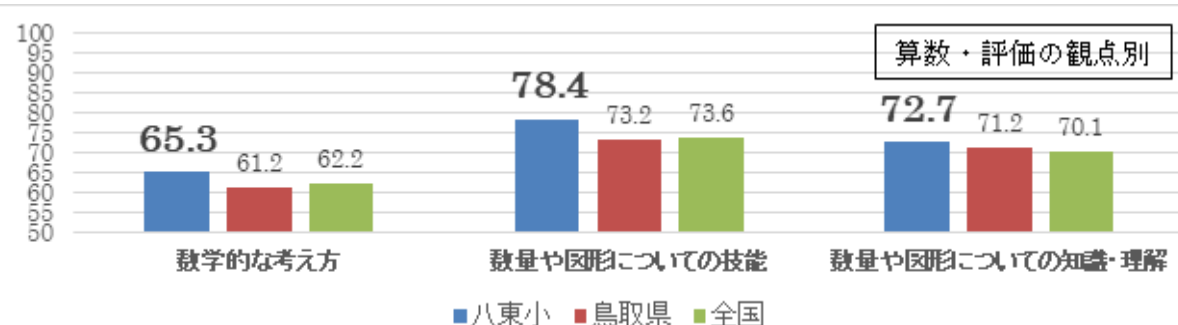
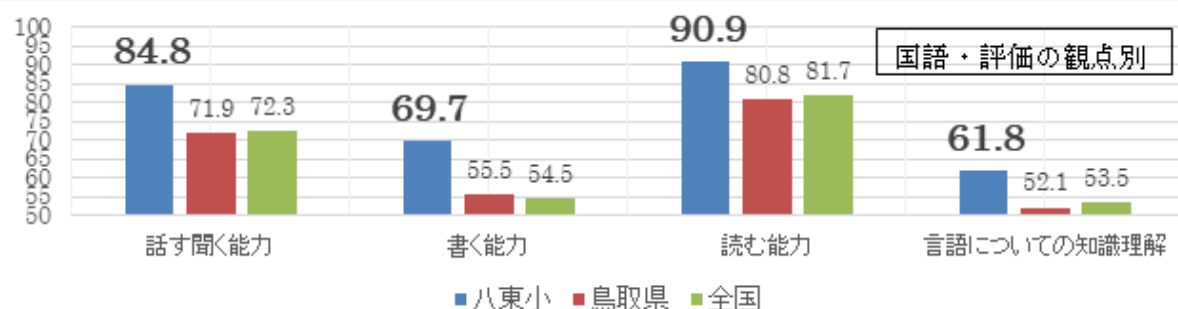
「文章や情報を正確に読み解く力」は、日々の読書が基礎です。

○令和元年度全国・学力学習状況調査より ～ 昨年度からの取組の成果が現れています。 ～

本年度も、6年生を対象に標記の全国・学力学習状況調査が4月18日（木）に実施され、その結果が、7月26日（金）に公表されました。今回は、この1年間の本校の「書く活動」を中心にした授業改善の取組が、着実にその結果となっていたと感じています。

本年度より、学力調査の方式が変わり、従来の国語A（基礎・基本）／B（活用）、算数A／Bの形式がなくなり、国語も算数もB形式を中心とした記述中心の問題に一本化しました。因みに、昨年度は、国語はほぼ全国平均並、算数はやや低い状況でしたが、本年度は、明確に結果が向上していました。

①平均正答率、②学習指導要領の領域別、③評価の観点別、④問題形式別 について比較してみました。その結果、国語も算数も全て、全国・県より平均正答率は上回り、①から④の全てにおいて、県より全国より高い結果となりました。観点別の中には、平均正答率が、10％以上も上回っているものもありました。



ここでは、「③評価の観点別」の結果のみを紹介していますが、先に記した①・②・④の項目も、国語・算数とも県・全国の平均正答率を上回っていました。中でも、国語の「④問題形式別」の「記述式」の正答率は、全国平均正答率よりも、16.6％も上回っていました。「読む」「書く」を基本にした国語学習の取組の成果が顕著に表れています。「継続は力なり」です。

また、併せて実施された質問紙調査でも、詳しくは紹介しませんが、本校6年生の国語・算数の学習に対する意識が高いことが、顕著に表れていました。そうした意識の高さが、今回の高い結果につながったと考えています。ところで、この質問紙調査の設問⑨にこんな質問があります。

設問⑨「物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。」

「1 当てはまる」の割合が 本校:100% 県:79.2% 全国:79.5%

この回答にも本校の「つながる子」「うみだす子」「やりぬく子」「かかわる子」の浸透を感じます。「やり遂げて、うれしかった」というこの経験は、大切な経験です。それを一人一人が体験している。それをこれからも大切にしましょう。

○8月18日(日)の環境整備作業への御参加、ありがとうございました。

台風10号の通過した後の18日日曜日、早朝より、環境整備作業に児童のみなさん、保護者のみなさんに、多数御参加いただきありがとうございました。校庭・校舎内、広く作業していただき、すっかりきれいになりました。校庭の草取りや草刈り、グラウンドの土入れ、校舎内の窓ふきなど短時間でしたが、瞬く間にきれいに仕上げていただきました。また、各教室に設置されたエアコンの様子も見ただけかと思います。きれいな校舎、スッキリした校庭で、2学期のすばらしいスタートが切れます。暑い中、ありがとうございました。

